

笠北だより

平成31年3月6日 第40号

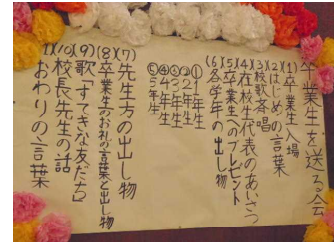
【めざす学校像】

- 児童・職員・保護者がともに成長する学校
- 互いの違いや個性を尊重し、力を合わせて成長する学校
- 自他の間違いや失敗を認め合い、成長へと結びつける学校

平成30年度 卒業生を送る会 (3/1)



3月1日(金)の3,4校時に「卒業生を送る会」を行いました。6年生は、首から手作りのメダルを掲げて、花のアーチをくぐっての入場です。全員で校歌を歌い、在校生代表からのあいさつがあり、1年生からプレゼントを贈って、いよいよ各学年の出し物です。どの学年も一生懸命に練習してきた成果を発揮して、すばらしい出し物でした。



6年生は、とても柔らかい表情で、後輩たちを慈しむように見ていました。本当にいつも優しいお兄さんお姉さんでした。お昼休みは、サッカー、だるまさんが転んだ、ドッジボール、鬼ごっこ、とあちらこちらで、後輩と遊ぶ6年生たちがいました。



【1年生】
歌と踊り「54匹のねこ」



【3年生】
歌「見上げてごらん夜の星を」
合奏「星に願いを」「パフ」



【4年生】
合唱「スマイルアゲイン」
合奏「茶色の小びん」



【2年生】
歌と踊り
「レッツゴーいいことあるさ」



【5年生】
合奏「威風堂々」
歌「シング」
ダンス「USA」

花のアーチをくぐって先に退場した6年生が、体育館の片付けをしている5年生の分の給食を準備してくれました。さらに、清掃も早く始めて、分担箇所をきれいにした後に、1年生の手伝いに向かいました。立派な6年生です。



おもろ多意・後立ち撥意

～和して同ぜず～

〔名言・格言集第38弾〕「人と協調はするが、自分の意思をしっかり持ち、むやみに同調することはしない。」という意味です。「和」は主体性をもちながら人と親しみ助け合うこと。「同」は自分の意思もなく安易に他人の言動に同調すること。孔子の言葉をまとめた「論語」にある言葉です。論語は名言の宝庫です。